



さあ、2学期のはじまりです。

この夏、すてきな本に出会いましたか？ 読書感想文はできましたか？

まだまだ、残暑が厳しいです！ 体調を整え、「早寝・早起き・朝御飯」で乗り切りましょう！

連絡1

本の返却日です！

夏休み用に「特別貸出」した本は、本日9月2日(月)返却厳守です。

連絡2

第2回 図書委員会を開催します。
18日(水)の放課後15:40

内容は、

- ・2学期の当番決め
- ・体育祭での役割分担 です。

報告1

7月の図書館の利用状況

	開館 日数	利用者総数		貸出者総数	貸出総冊数		リクエスト数	パソコン 利用	
		420人			340冊				
7 月	14日	156人		150人	1年	118冊	11件	6件	
	1日～ 終業式	放課後	150人		2年	104冊			
		その他	6人		3年	43冊			
			職員		75冊				
8日 22～31日	147人(自習) 117人(見学)								

7月中の利用者は、昨年度より 96人 増えました！

7月中の貸出冊数は、昨年度より 53冊 増えました

☆夏休み中は、自習室として利用していた生徒が数多く見受けられました！

みなさんが、勉強に集中していて、大変静かな利用態度でした。

報告2

1学期 図書館利用統計(2019年4月9日～7月31日)

★学年別 図書貸出冊数

1年	294冊	759冊
2年	296冊	
3年	169冊	

★クラス別 図書貸出トップ10

順位	クラス	貸出冊数	順位	クラス	貸出冊数
1位	2年4組	171冊	6位	3年4組	38冊
2位	3年2組	61冊	7位	1年2組	37冊
3位	1年6組	57冊	8位	1年9組	34冊
4位	1年5組	51冊	9位	2年8組	32冊
5位	1年7組	40冊	10位	2年6組	26冊

『線は、僕を描く』 講談社
 砥上裕将/著
 両親を交通事故で失い、喪失感の中にあった大学生が、水墨画の巨匠と出会う。水墨画という「線」の芸術が、深い悲しみの「僕」を救う。



『希望の糸』 東野圭吾/著 講談社
 閑静な住宅街で小さな喫茶店を営む女性が殺された。捜査線上に浮上した常連客の男性は、災害で二人の子供を失っていた。容疑者たちの複雑な運命。



『天使も怪物も眠る夜』 中央公論社 吉田篤弘/著
 2095年、東京は、四半世紀前に建てられた「壁」で東西に分断されていた。街は不眠の都と化し、覚醒タブレットを開発する青年シュウは、謎の美女に出会う。



『ウナノハテノガタ』 中央公論社 大森兄弟/著
 楽園ウナノハテノガタを信仰する海の民「イソベリ」は死を知らない。精霊を司る少年オトガイは、山の民「ヤマノベ」との争いを止めるが...



『むらさきのスカートの女』 第161回 芥川賞受賞 今村夏子/著 朝日新聞出版
 「むらさきのスカートの女」が気になって仕方ないわたしは、彼女と友達になろうとする。



『渦』 大島真寿美/著 文藝春秋 第161回 直木賞受賞
 虚実の渦を作り出したもう一人の近松がいた。人形浄瑠璃作家近松半二の生涯を描いた、比類なき名作！筆から墨がしたたり、私が文字になる。



『蟻の菜園:アントガーデン』 柚月裕子/著 KADOKAWA
 社会派ミステリ。結婚詐欺容疑で介護士の円藤が逮捕された。ライター由美が円藤の過去を追って北陸へ。



『世界を救う100歳老人』 ヨナス・ヨナソン/著 西村書店東京出版
 アランの101歳の誕生日パーティ祝いに、親友ユリウスが熱気球を用意した。2人の冒険が始まる。トランプ、メルケル、プーチン、金正恩が登場！



『小説アルキメデスの大戦』 講談社 三田紀房/原作
 映画では菅田将輝が数学の天才・權直を演じた。1933年、次なる旗艦の建造計画をめぐる、海軍上層部は対立する。数学の真理は、巨大戦艦「大和」の建造を阻止できるのか。



『三軒茶屋星座館』 講談社 柴崎竜人/著
 都会の路地裏にあるプラネタリウム(兼バー) 店主・和真のもとに弟が、娘の月子と共に帰ってくる。親子3人の奇妙な共同生活が始まる。



若い読者のための『種の起源』入門生物学 チャールズ・ダーウィン ちすなる書房
 生物学の礎にして「もっとも世界に影響を与えた本」といわれる「種の起源」を解説する。



『ヤバい宇宙図鑑』 青春出版社 谷岡 憲隆/著
 意外と近い！宇宙までの距離は東京から富士山くらい。宇宙に行くと顔は丸くなり、背が伸びる！あなたの知らない宇宙がここにある。



『ノースライト』 横山秀夫/著 新潮社
 一家はどこへ消えたのか？空虚な家になぜ一脚の椅子だけが残されていたのか？最も美しい謎



『アルファ』 インス・ホルター/著
 万物創生。宇宙と地球と生命の歴史を壮大なスケールで描く大絵巻。ビックバンから人類誕生までの140億年を2000枚の画で描く傑作



『グレートネイチャー』 スミソニアン協会/著
 生物たちの生き生きした姿・新しいタイプの図鑑。地球上の生き物の姿と生活には、みんなちゃんとした理由があった。生きる姿と「しくみ」が一冊でわかる。



『この計画はひみつです』 ジョナ・ウィンター/著 ニューメキシコ
 砂漠の町に科学者たちがやってきた。アメリカで原子爆弾がつけられるまでの絵本



『小説 天気の子』 新海 誠/著 KADOKAWA

『高校生。とびだせ世界へ』 高校交換留学21カ国2000人の体験から

『君たちが忘れてはいけないこと 未来のエリートとの対話』 佐藤優/著

『ベストエッセイ 2019』 日本文藝家協会 ひとりひとりが言葉で切り取った光景や日常が記録、出会いや別れ。身近な言葉で綴られた、時代の記録。

『もし文豪たちが現代の文房具を試しに使って見たら』 寺井広樹 福島真子/著

『宇宙 そのひろがりを知ろう』 『海』 加古里子のかがかく絵本

『現役東大生の世界一おもしろい教養講座』 西岡壺誠/著 実務教育

『世界を平和にするためのささやかな提案』 わたしたちが今日からできること。22人による多彩なアイデア集。黒柳徹子・香山リカ・木村草太ほか

『へいわとせんそう』 谷川俊太郎/文 Noritake/え
 「へいわのぼく」「せんそうのぼく」平和と戦争の違いが見えてくる。これまでにない平和絵本。



